

令和4年12月5日
公益財団法人 愛知県教育・スポーツ振興財団
愛知県埋蔵文化財センター

鹿乗川関連遺跡 発掘調査だより No.6



◎中狭間遺跡で弥生時代の壺が出土しました。

11月19日（金）に、中狭間遺跡の調査が終わり、亀塚遺跡の調査を始めました。中狭間遺跡は、11月3日の地元説明会のあと下層の調査を行い、南の調査区（A区）では弥生時代中期の土器がほぼ完形で出土しました（写真上）。また、方形周溝墓の溝からは平鍬などの木製品も見つかりました。調査の結果、中狭間遺跡は北が居住域で南は墓域であった可能性が想定されます。

一方、亀塚遺跡は調査を始めたばかりですが、調査区全体で遺構が検出され遺物も多く出土しており、今後の調査に期待されます。

調査のため通行止めとなっている箇所もあり、地元の皆様にはご迷惑をおかけしておりますが、なにとぞご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

委託者：愛知県埋蔵文化財センター TEL：0567-67-4163（担当：永井、木村）

ホームページ <http://www.maibun.com/>

受託者：安西工業株式会社 現場代理人 TEL：090-3704-3565（中谷）



中挟間遺跡（A区）の方形周溝墓の溝から見つかった木製の鍬（南東から）
※周溝を掘る際に使われた道具のひとつだったかもしれません



中挟間遺跡（A区）では方形周溝墓の東半分が確認されました（南から、画像加工）
※白線で示したところが周溝墓の溝です